

平成30年度 第10回 小野申人といきいきトーク

と き	平成31年2月18日(木) 19時～20時40分
と ころ	府中市立旭小学校
テ ー マ	子育て・教育、地域づくり、防災
出席者	学校運営協議会委員：15名 小野市長、栗根総務部長、九十九健康福祉部長、 若井建設産業部長、門田学校教育課長

《教育・CS・子育て》

- ・ 学校運営協議会委員になり皆さんと交流、特に学校で子どもたちと接する中で、確かに明るく元気な声が返ってくる気がする。こうしたことがCSかと思うが、今までやっていたことの名前を変えただけと思うところでもある。
- ・ 学校の方も、公民館まつりなど地域のまつりへもできるだけ企画の辺りから、子どもたちにできることを任せるといった働きかけをしている。自分の地域でもそういったことをやらせてもらえれば、子どもは僕らが心配する以上によくやってくれるのではと思っている。
- ・ CSの話をするといつも感じるが、保護者の教育力を問われると思う。子育ての中心は家庭だが、共働きがあったり、核家族があったり、兄弟が少なかったりすると、子どもが多かった時代と比べ人間関係も違う。今現役の私たち親の世代が頑張らないといけないと思うが、それに地域の人や先生が加わってくれ、みんなで子どもを育てようというのがCSの理想とを感じる。
- ・ CSの主体は校長。学校に負担になってはいけないので、校長が求めることをする。校長の求めた時に最大限の努力をするのがCSだと思う。
- ・ 地域と学校でしているクリーン作戦で、今回は幼稚園や保育所にも新たに声をかけたことで、今年1年生になる3組の親子が参加され、挨拶をされた。これも保幼小のつながりて、地域でそれがすでにできてきている。参加した子どもが入学が楽しみになるようになるというのも学校づくりに大事なポイントになる。

どこの地域でもCSを始めて、子どもと接する機会が増え、スーパーなどで会ったときにも挨拶をされるなど、地域も元気になったという話を聞く。地域の人も学校に関わることを喜んでいる。

市長

- ・ CSは三者で「育てる」ということで、学校の先生が育ててくれるのは「学」部分、保護者はしつけなどいろいろ。今後の社会に出てからの生き方を教えてくださるのが地域かなと思っている。「育てる」ではなく、三者で子どもを「輝かせよう」とか、そういった言葉になればみんながもっと親しみやすくなると思う。

- ・ 校庭を芝生化という話があったが、実際に進展している学校はあるか

府中学園の一部分が芝生になっているところはあるが、天然芝について、協議をする中で維持管理の問題があるため止まっている状態。人口芝については、サッカー協会と連携し実現に向け取り組んでいきたいと思っている。

市長

- ・ 不登校の問題が気になる。不登校の子の保護者にも仲の良い保護者がいるはずなので、その辺りが登校へのきっかけにならないか。

不登校については、地域の力もお借りしたいし、保護者同士のネットワークなど、とにかく救いの手が届くようにしたい。CSの中でこの問題を取り上げるなら、不登校になる以前にこの地域で生きているという体験や風景を与えることが、どこかに頼れるところがあると子ども自身が動けるところを作る道になる。

課長

#### 《地域》

- ・ 人口も増やし、少子高齢化を何とか食い止めたいが、相手があることなので、来てくださいと言ってもそう簡単にはいかない。まつりなども人数が少ないため、子どもだけですることはできない状況がある。
- ・ 小学校の通学路に防犯カメラをお願いしたが、市は国道の方からという方針だった。今一番中之町で問題になるのは、歩道橋のあるところ。もし付けられれば先に付けてほしい

順番がいつになるかは明確に言えないが、防犯カメラについては計画的に設置している。

市長

- ・ 中学生が自転車通学の際、道路に穴が掘れていてそこでハンドルをとられ大けがをした。道路の安全管理は町内会で全てみることは難しいので、どの辺りまで市の管理が行き届くのか。

道路のくぼみなどは、市もパトロールしているが、なかなか市だけでは見きれないところもある。郵便局とも連携しており、配達の際にそういった道路の箇所があれば連絡いただくようにしている。町内会にも協力をお願いしたい。また、気づきがあれば遠慮なく言ってほしい。

市長

#### 《防災》

- ・ 7月豪雨の際、道が寸断された。学校で災害のときに子どもを引き渡す訓練をしたが、災害はいつ起こるか分からず、市外で働いている保護者は道路が寸断されるとどうやって迎えにいいのかと考える。福山方面、上下方面、御調方面に行く道は安全に通れるようにしてもらいたい。

国も今国土強靱化ということで予算をつけている。災害がいつくるか分からない中で、できるだけ対応する。また、災害時、保護者に迎えなど、子どもの情報を伝える仕組みなども含め取り組むようにしている。

市長

《まとめ》

色々貴重な意見をもらい感謝。今日が終わりではなく、始めということで、このような機会を引き続き設けていく中で意見をいただきたい。

市長